

## サブドレン等核種分析結果

(データ集約 : 3/29)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 1号機サブドレン	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 3号機サブドレン	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 4号機サブドレン
試料採取日	2018年10月19日	2018年10月19日	2018年11月16日	2018年11月16日	2018年12月21日	2018年12月21日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)					
I-131 (約8日)	ND(7.1)	ND(7.1)	ND(7.4)	ND(5.9)	ND(7.3)	ND(3.8)
Cs-134 (約2年)	15	24	15	ND(3.8)	18	ND(5.7)
Cs-137 (約30年)	230	300	200	ND(4.7)	260	ND(5.5)
H-3 (約12年)	63	250	81	99	240	75
全	ND(2.0)	ND(2.0)	ND(2.0)	ND(2.1)	ND(2.0)	ND(2.4)
全	630	470	510	3.8	1,100	2.7
Sr-89 (約51日)	ND(0.3)	ND(0.3)	ND(0.3)	ND(0.2)	ND(0.2)	ND(0.2)
Sr-90 (約29年)	190	55	160	0.025	370	0.86

NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

I-131, Cs-134, Cs-137については, 2018年10月20日, 11月17日, 12月22日公表

Sr-89, Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。

## 福島第一原子力発電所 サブドレンのPu分析結果

### 1. 測定結果

(データ集約: 3/29)

(単位: Bq/L)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+240
2号機サブドレン	2018年10月19日	ND [ $4.8 \times 10^{-4}$ ]	ND [ $5.3 \times 10^{-4}$ ]
1号機サブドレン		( $1.1 \pm 0.28$ ) $\times 10^{-3}$	ND [ $6.2 \times 10^{-4}$ ]
2号機サブドレン	2018年11月16日	ND [ $5.0 \times 10^{-4}$ ]	ND [ $4.3 \times 10^{-4}$ ]
3号機サブドレン		ND [ $6.3 \times 10^{-4}$ ]	ND [ $5.3 \times 10^{-4}$ ]
2号機サブドレン	2018年12月21日	ND [ $7.4 \times 10^{-4}$ ]	ND [ $6.8 \times 10^{-4}$ ]
4号機サブドレン		ND [ $6.1 \times 10^{-4}$ ]	ND [ $6.7 \times 10^{-4}$ ]

[ ]内は検出限界値を示す

### 2. 分析機関

株式会社 化研

### 3. 評価

過去測定した試料と同程度の濃度であり、今回のプルトニウムの検出についても、建屋からの新たな漏洩によるものではなく、事故後にフォールアウトにより地表に降り積ったプルトニウムが降雨に伴い雨水とともに当該サブドレンに流入し、一時的に検出されたものと考えられる。

以 上